

資金会計理論そのものや、表の活用についてお問い合わせを多く頂きましたので、Q&A 方式でお答えいたします。

資金会計理論についてのご質問やご相談などは、遠慮なく当事務所までお問い合わせください。

Q.制度会計では利益が発生しているのに資金繰りは楽になりません 資金会計理論では解決できますか

A. 制度会計の利益は納税する為の数値で現金の残高とは必ずしも一致しません。

しかし、資金会計理論の利益は「自由に使える現金」と定規していますから、資金不足の真の原因を明らかにし、資金のアンバランスを改善する事により資金繰りを良くすることができます。この資金繰りが良い状態を、いい財政状態と資金会計理論ではいいます。

Q.時価会計について教えてください

A. 時価会計は制度会計の錯覚による会計処理です。

例えば、飲食店の店舗を取得する目的は、その店舗を利用して収入を得る為に取得する物です。店舗が存在する限り、利用価値は存在します。

しかし、時価会計ではその時にいくらで売却できるかを考える会計で、店舗など売却する時は、ほぼ0に等しくなる事はご存知の通りです。

この例を見てもいかに時価会計（清算価値）が矛盾にみちたものか理解できると思います。

Q.節税について教えてください。

A. 「節税とは、税金を合法的に節約すること」

と定義されています。一般的な節税対策では、税金の支出を減少させる為に、倍以上の現金の支出が行われます。税金さえ減少させれば、それで良いのでしょうか？これでは、本末転倒と言わざるをえません。